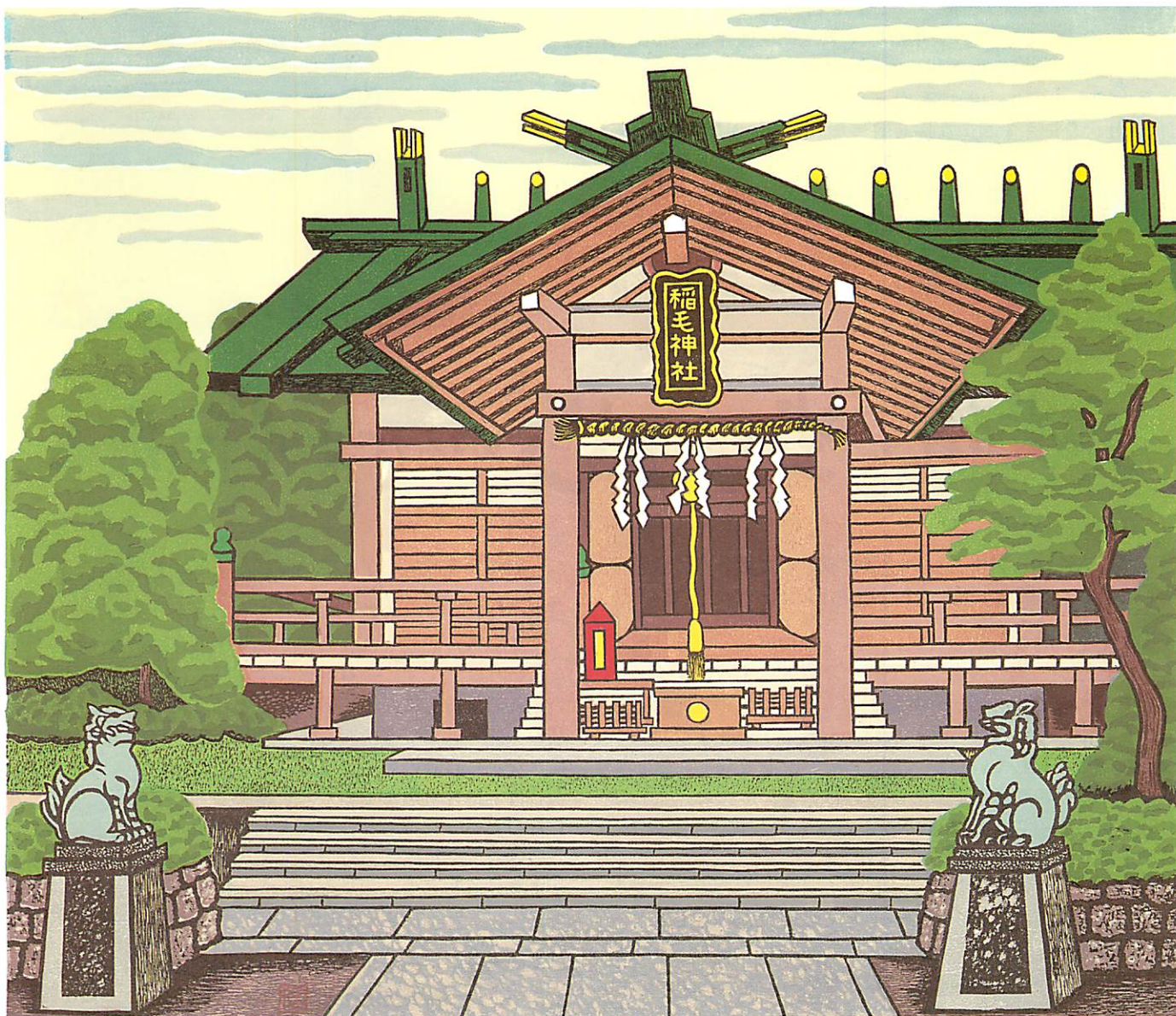


Stage Up

2003年

11月号

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No. 125



「稲毛神社」 版画：浪江年博

- もくじ**
- 2 特集 インタビュー 吉田 博さん
 - 4 生涯学習ア・ラ・カルト
 - 6 ぐるーぷBOX / いま地域で学校で
 - 7 まち・ひと・多面体 / 暮らし百景 俳壇
 - 8 イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団
〈ホームページ〉 <http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044 (733) 5560(代) / FAX 044 (739) 0085
TEL 044 (733) 5811 (ステージ・アップ直通) E-メール: stage-up@kpal.or.jp

特集

インタビュー

「川崎映像」会員・アマチュア映像作家

吉田 博 さん

「出会い」が人生を変える時がある。18年前、比叡山で一人の高校生がひとりの修行僧と出会う。その時から彼はビデオカメラで修行僧を追う。修行僧酒井雄哉さんは、比叡山で最も過酷な「行」に取り組んでいた。その酒井さんの後姿を追いながら少年は「生きること」を自問する。そして作品「道」が完成した。この少年がアマチュア映像作家の吉田博さん。運動会の騎馬戦を描いた「いくぞ！ぼくの戦記より」、テスト中の中学生の表情を撮った「テストはボレロにのって」、杜氏をめざす若い女性を追った「渚の大吟醸」など…。刺激的な映像があふれている現代にあって、表情を丹念に映すことで、その人物の気持ちを照らし出す吉田博さんの作品は、観るものの心を惹きつけ揺さぶり、さわやかな感動を与えてくれる。「中学時代に放送部で原勤先生と出会ったことから始まった」と話す吉田さんに映像制作に寄せる思いや抱負を伺った。



映像に生きる 心揺るがす作品を

——吉田さんは、アマチュア映像作家として数多くの賞を獲得していますが映像に興味を持ち始めたのはいつごろですか。

吉田 小学校のころ放送委員会に入っていて、週一回くらいでしたが学校のスタジオでビデオカメラを使いクイズ番組や先生へのインタビュー番組を作って、お昼の時間に流していました。それがけっこう面白かったですね。まだビデオがそれほど普及していなかったころで、テレビ局で放送しているもの以外の映像が映るといのは驚きでした。まして自分が撮ったものが映るといことは大変な驚きでしたし、喜びもありました。

中学校（川崎市立住吉中学校）に入って、どの部活に入るかいろいろ悩みましたが、自分としては映像を作りたいと思い放送部を選びました。そこで、異動してきたばかりの原先生と出会いました。当時学校には機材がワンセットしかなく、ビデオカメラを使うのは3年生で、1年生はアシスタント的な存在でなかなか使わせてもらえませんでした。自分も早くカメラを持ちたいと思っていました。そんな時に原先生から「1年生だけで作品を作ってみたら」と言われ、夏休みに作ったのが「ほくもいるよ！—12歳のころ—」（全日本映像コンクール審査員特別賞受賞）という作品です。撮影したものを編集し音楽を入れて作品にするということ、この時初めて経験しました。原先生と出会って映像を作る面白さを知り、それからずっとはまっていたという感じです。

——制作する時に心がけていることはありますか。

吉田 特に「座右の銘」のようなものはありませんが、見てくださる人が感動したり共感したりする作品になったらいいなということです。それと撮影する時にはなるべく撮られている人の気持ちになって撮ろう、ということでしょうか。作品のテーマとして「人」を描きたいと思っています。人物を描きながら自分の思いや気持ちも表したい。がんばっている人、何かに打ち込んでいる人を描くことでその人たちを応援したいという気持ちと、その人たちの生き方をもとにして自分の生き方を見直し、自分もがんばりたいという気持ちがあります。そして僕の作品を見た人が、日常生活の中で何かを再発見して生きる糧となってくれればいいなと思っています。

——市内の小・中学校や市民館などで上映会を開催されていますが、皆さんの反応はどうですか。

吉田 自分と同年代の人や上の世代の人たちからは、たいいてい「感動した」という感想をもらえます。一番怖いのは、子どもたちの反応です。「テストはボレロにのって」や「いくぞ！」は、僕が10代の時に作った作品とはいえ、15年以上前のものです。生まれた時からテレビやビデオが家庭にあり、映像の中で育った子どもたちはどう感じるのだろうか。受け入れられるのかなという心配がいつもあります。この前伺った中学校では上映が終わったあとに拍手が自然にわき起こりました。「よかった。わかってくれたんだ」とほっとしま

した。作品のテーマをうまく理解してもらえない時もたまにはありますので、そういう意味では、子どもたちに通じた時が一番うれしいですね。

——いままで撮影してきた中で、特に印象に残っていること、影響を受けた出来事がありますか。

吉田 作品の一つひとつに思い出がありますが、自分の中で一番の転機になったのは、比叡山の僧、酒井雄哉さんを撮った作品「道」ですね。酒井さんとの出会いが自分に大きな影響を与えたと思います。高校生だった僕が「生きることで何だろう」と真剣に考えるようになったのも、酒井さんの姿を撮った時からです。

酒井さんは40歳を過ぎて僧になり、史上最も過酷な「行」と言われている比叡山の「千日回峰行」を二度も成し遂げた人です。酒井さんのことは、たまたまテレビ番組で見ていて印象に残っていました。中学校を卒業する時に、京都への修学旅行のガイド番組を後輩に残そうと取材のために比叡山に行きました。その時に取材を許可してくださった担当のお坊さんが親切な方で「すごい行者さんがいるから合わせてあげよう」と紹介していただいたのが酒井さんでした。僕にとってもともとお寺の生活自体が無縁なわけで、生死をかけて修行している人がいるということにとっても驚きました。修行が終わったからといって、お金が入るとか、出世するとかいうことではなく、ただ自分と向き合い修行をしているということにカルチャーショックを受けました。



吉田さんの作品を食い入るように見る中学生たち(川中島中学校にて)

僕は、「千日回峰行」の中の「京都大回り」(京都と比叡山を1日85キロ、100日間歩くという行)の様子を記録したのですが、酒井さんが命をかけて、ひとつのことに打ち込んでいる姿を見て、「自分は人生の中で何ができるのだろう。自分は映像に命をかけられるのか」と撮りながら考え続けました。真剣に打ち込まないと何かを超えないのかな、と修行僧の後姿を撮りながら思いましたね。酒井さんは、難行を二度も成し遂げたことについて「自分は落ちこぼれだから、人の倍やらないと人と同じになれないと思っていた」と話してくださいました。二年間かけて酒井さんを追い、がんばりとか、やり通すねばりとか、そういったものも学びましたね。

——輝かしい賞をたくさん受賞されていますが、壁にぶつかったこともあると思いますが…。

吉田 今は仕事との両立が大変です。高校生の時は、大学受験がありましたし、友達と遊びに行きたいけど撮影の日程とぶつかり板ばさみになるということもありましたね。会社に入って環境が変わった時に、一年ぐらい本当にいやになって撮らない時期がありました。映像を作る仕事に携わっていると言っても、考え方が全然違う。産業として売れる映像を作ると、クリエイターとしての自分が作りたいものを作ると



比叡山の飯室不動堂でカメラを回す吉田さん(提供写真)

というのは違います。その違いを割り切って、気持ちを変えていかないと、自分がだめになってしまうと感じました。映像を作るということが自分の一部になっているので、やめてしまうということは自己否定に通じる。仕事で出来ないことは、プライベートな時間に趣味として生かせばいいと思うようになりました。アマチュアのよさは、時間を制限されないのが納得がいくまで好きなように作り続けられることです。当然見る人のことを考えて作るけれども、いわゆる商業主義の方向ではなく、自分の色が出せるというところがいいのです。

それから僕が映像制作の上で壁にぶつかった時に「こういうふうにするのですがどうでしょうかね」と深いところまで話せるのは原先生ですね。原先生を中心にした川崎映像の仲間たちに支えられていることが大きいと思います。一人でやっていたらやめていたかもしれませんが、先生や仲間たちがいたから自分もがんばれたのです。

——最後に、これからのことを聞かせてください。

吉田 作品を見た人の心を揺さぶるような、大きさに言えばその人の生涯を変えてしまうほどの感動を与えられるような作品を作りたいと思います。

この7年間、酒井大阿闍梨様の弟子の藤波さんという僧が「千日回峰行」を行うとのことで、ずっとその様子を記録していましたので、その後のことは考えていません。ただ、僕としては普段生活している中で、見落とされがちな「大切なもの」を拾いたいと思っています。具体的な素材があるわけではないのですが、効率優先の世の中であって、古いものや一見無駄なようだけれども忘れてはいけないことを映像に残したいと思います。それがものなのか、人なのか、考え方なのかわかりませんが、日常の中の再発見みたいなことをテーマにしたいと漠然と考えています。そんな気持ちを映像に込めて作品を作り、文化的な価値のあるものとして後世に残せたらいいと思っています。

吉田 博さん (よしだ・ひろし)

1970年川崎生まれ。川崎映像会員。ビクターエンタテインメント株式会社第四制作宣伝部に勤務。高校時代に比叡山の回峰行者・酒井雄哉大阿闍梨に出会い制作した「道」は第7回ヒロシマ国際アマチュア映画祭グランプリ・広島市長賞、第15回日本映像フェスティバル グランプリ・内閣総理大臣賞、イギリス、スペインのコンテストでもグランプリを受賞。運動会の騎馬戦を描いた「いくぞ!ぼくの戦記より」は、ヒロシマ国際アマチュア映像祭・内閣総理大臣賞を受賞。これまでに100本の作品を制作し、国内のビデオコンテストで高い評価を受け受賞49回。アマチュア作家として映像制作を続けている。

●アカデミー●

設立10周年記念 かわさき市民アカデミー学園祭

かわさき市民アカデミーの受講生が企画・運営する「10周年記念」学園祭が11月15日(土)から17日(月)まで実施されます。講演・展示など多彩な催しがいっぱいです。皆様のご来場を心からお待ちしています。

11月15日(土)

- ◆記念シンポジウム「国際秩序の変容と日本・アジア」
講師：寺島実郎・吉田文彦・竹中千春(13:30~)
- ◆会場…ホテルザ・エルシー小杉 4F 琥珀
- ◆パーティとあわせて5,000円(要申し込み)

11月16日(日)

- ① 展示「多摩川流域の自然とまちづくり」(17日まで)
 - ② 講演「日本経済の望ましい着地点とそのための処方箋」
講師：伊藤正直(10:00~)
 - ③ 講演と演奏「江戸の音楽の楽しみ」(13:30~)
講師：竹内道敬、今藤政智
 - ④ 講演「人生いつでも生き直せる」(10:00~)
講師：鷲田小弥太
 - ⑤ 講演「川崎市の環境施策について」(13:00~)
講師：田中 充
 - ⑥ 研究発表「私を魅了した西海の天主堂」(15:00~)
講師：鈴木 功
 - ⑦ 講演「93歳現役医師が語る」(13:00~)
講師：小林清子
 - ⑧ オークション(15:00~)
 - ⑨ 研究発表「福祉と地域性を考慮した住民参加型のまちづくり」講師：連 健夫(14:00~)
 - ⑩ 展示とパネルディスカッション
「N・Yグランドゼロ、その中心の真実」(13:00~)
講師：志澤公一
- ◆会場…川崎市生涯学習プラザ

11月17日(月)

- ① 講演「忍び寄る食糧危機と私たちの選択」(12:30~)
講師：荒 年郎
 - ② 講演「現代中国の歴史的位相」(13:00~)
講師：野村浩一
 - ③ 講演「文学—澁澤龍彦をめぐる」(13:00~)
講師：宮田稔栄
- ◆会場…川崎市生涯学習プラザ

11月20日(木)

- ④ 歴史大河オペラ「ドン・カルロ」鑑賞(13:30~)
(市民フロンティア主催◆会場…川崎市国際交流センター)

問い合わせ アカデミー室 ☎044(733)6626

生涯学習ア

●まなぶ●

パソコンセミナー 受講者募集

- ◆パソコン入門コース◆対象：パソコン初心者の方
パソコンの基本操作、インターネット、e-mailについて学習。
- ◆初級ステップアップコース◆対象：文字入力のできる方
Windowsの基本操作、WORD・EXCELの基礎、インターネット、e-mailの操作と利用方法を学びます。
- ◆WORD中級コース◆対象：WORDの基本操作のできる方
文章や図表作成などWORDの機能の応用編です。

★講座日程 (会場は川崎市生涯学習プラザ研修室)

	開催日	コース	講座No
11月	22(土)・29(土)	WORD中級	11-D
	26(水)・27(木)	初級ステップアップ	11-E
12月	4(木)・5(金)	パソコン入門	12-A
	9(火)・10(水)	初級ステップアップ	12-B
	17(水)・18(木)	WORD中級	12-C

- ★受講時間…9:30~16:30(昼休憩1時間あり)
- ★受講料…12000円(テキスト代含む)。定員は各15人。
- ★申し込み…はがき・Fax・電話で。締め切りは各講座開講日の3週間前。第2希望までの講座No、〒、住所、氏名(ふりがな)、年齢、☎、Fax、受講目的を明記。
〒211-0064 中原区今井南町514-1生涯学習プラザ内
学習推進室 パソコンセミナー係
問い合わせ ☎044(733)5894/Fax 044(739)0085

●さがす●

「団体・グループ情報」へ登録を

「ふれあいネット」には、生活や学習に役立つ10種類の情報が入っています。その中の「団体・グループ情報」は、平成15年4月1日現在で約600団体登録されています。情報の中身は、活動内容、活動日時、活動場所、入会条件、会員数などです。あなたの趣味や関心ごとに合う仲間が見つかると思います。どうぞご利用ください。

学習に役立つ情報を充実させるためには、皆様から登録をしていただくとともに、常に最新の情報である必要があります。

仲間・会員を増やしたいとお考えの団体・グループの登録も常時受け付けています。また、代表者、連絡先、住所などが登録時と変わった場合は、変更手続きをお願いします。ご連絡をいただければ、調査票をお送りします。登録ご希望の方は下記へお問い合わせください。

問い合わせ 学習情報室 ☎044(233)6250

ラ・カルト

●はぐくむ●

親子ふれあい隊～冬の八ヶ岳でスキーを！

川崎市八ヶ岳少年自然の家では、「八ヶ岳自然体験」親子ふれあい隊を実施します。スキー・冬の星座観測などを通じて家族で冬の八ヶ岳を楽しみませんか？

日程：平成16年1月10日(土)～12日(月)2泊3日
 集合・解散場所は川崎市八ヶ岳少年自然の家
 交通手段は、自家用車又は電車（JR中央本線「小淵沢駅」までの送迎あり）

会場：富士見パノラマスキー場
 宿泊：川崎市八ヶ岳少年自然の家
 対象：市内在住・在学の小学校3年生から中学生までの児童生徒とその保護者

定員：50人（応募多数の場合は抽選）
 費用：16,000円（食事、レッスン代等を含む）
 ※レンタルスキー・ウェアについては別途費用がかかります（自己負担）。

申し込み：平成15年11月25日(火)～12月10日(木)までに、往復はがきに郵便番号・住所・参加者全員の氏名・年齢・性別・TEL（あればファックスも）を記入し下記あてにお送りください。

〒399-0101
 長野県諏訪郡富士見町境字広原12067-482
 川崎市八ヶ岳少年自然の家

問い合わせ ☎0266(66)2011

●たのしむ●

「冬休みスノーボード教室」を開催

冬休みに、屋内ゲレンデで「スノーボード」に挑戦してみませんか。

〈期間〉 1月5日(月)～1月7日(水)
 〈コース〉 ①1日コース 9:30～11:00
 （期間中のいずれか1日を指定）
 ②3日間コースA 12:00～13:30
 ③3日間コースB 14:30～16:00

〈対象・定員〉 全コースとも小・中学生各15人

〈受講料〉 1日コース 3,000円
 3日間コース 9,000円
 （ウェア・手袋・ボード・ブーツのレンタル料と保険料を含む）

〈会場〉 スノーヴァ溝の口
 （南武線「津田山駅」下車徒歩2分）

■申し込み■12月17日(水)必着で、往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、身長、くつのサイズ、きき足、☎、希望コース名（1日コースは希望日）を記し、下記にお送り下さい。

〒211-0064 中原区今井南町514-1
 川崎市生涯学習振興事業団 学習推進室

問い合わせ ☎044(733)5572

ハート & ハーモニー Vol.37

脳の健康とこころの健康

かつては世界中の民族が「こころの座」は心臓であると考えていました。脳が神経の中枢であることが解っても、血液循環の中枢である心臓は、生命の中枢とも考えられてきました。生命の終りを考えるときに、脳の機能停止よりも、心臓の停止の方が納得しやすいのは自然な考え方です。脳死がヒトの死として社会的に受け入れられるかどうかは、考えて納得することではなく、心の底で信じられるかどうかですが、それこそが脳の問題なのです。

脳は身体の一部でありながら身体全体を支配している特殊な臓器です。我々が「こころの健康」と呼んでいるものは「脳の健康」であり、こころの病気とは脳の病気なのです。脳の健康も病気も、その状態は身体に反映され、時には人格の変化にまでなります。その原因が脳にあると理解できても「病気を憎んで人を憎まず」と割り切れることばかりではありません。これは脳の病気を扱う上では、最も困難で注意と理性が必要なことです。

脳の中で何が起きているかを、簡単な検査で知る事はまだできません。脳の神経細胞の活動は、電気的な興奮と、それを他の神経細胞に伝える化学物質の分泌から成り立っています。電気的興奮では心電図の不整脈と同じように、脳波でてんかんの診断もある程度できます。化学伝達物質ではパーキンソン病に対するドパミンのように、薬でコントロールが望める病気も増えています。脳が一つの臓器であるという認識が広がれば、まだまだ根強い脳の病気に対する偏見も薄らぐことが期待できます。

精神病をこころの病気と言い換えることは、ソフト感を装うことはできても、病気の本質を科学的に理解することにはつながりません。脳の病気と割り切って冷静に見つめることをしなければ、その逆である、科学的根拠もなしにコントロールできさえすれば良いという態度につながります。それは社会にとっても、病を抱える個人にとっても不幸なことです。日常的に「足が悪い」と同じ意味あいで「頭が悪い」が使われるようになってほしいものです。

脳は、身体中の感覚情報が集まってきて、身体中に運動情報を発信し、その情報の整理をしています。こころの健康づくりとは「こころの座」である脳の健康を考えることに他なりません。あなたの脳を大切に、みんなの脳を大切に考えれば、脳にとって快適で適度な刺激のある環境を、一つひとつ具体的に工夫できるのではないのでしょうか？

（スポーツドクター 野田 晴彦）

ぐるーぷBOX

歴史を学びふるさと再発見

「日吉郷土史会」

7月1日、幸市民館と幸図書館の分館「日吉分館」が開館しました。幸区の人口は約14万人で、そのうち日吉地区の人口は約5万5千人です。新設の日吉分館は日吉出張所、日吉健康ステーションとの複合施設で、開館を記念してさまざまな事業が行われました。そこで「日吉郷土史会」が主催した「加瀬山の昔話を聞き、現地を歩く」に同行しました。

「日吉郷土史会」(仁藤悦男会長、会員45人)は、幸市民館主催の「日吉地区郷土史講座」を受講した方々を中心として平成14年に発足した会です。日吉地区の遺跡のみならず周辺地区の歴史を学習し、地域と共に郷土愛を育むことをねらいとしています。

当日の参加者は33人。はじめに分館の学習室で、副会長の小泉勝美さんがパソコンを使い見所を説明し、その後、夢見ヶ崎古墳群、赤穂浪士と関わりがあった軽部五兵衛の墓がある了源寺、江戸末期から大正初期にかけて加瀬村の若者たちが力くらべをしたという寿福寺などを2時間歩きました。

参加者からは「かわさき市民アカデミーで川崎の歴史を勉強したのですが、地域のことをもっと知りたくてこの会に入

りました」「自分が生まれ育ったところなのに、知らないことが多く、とても勉強になります」という声が聞かれました。

会長の仁藤さんは、「日吉の地域は、加瀬古墳や国宝の『秋草文壺』が発見された所で、歴史的に貴重な遺跡が多くあります。若い人にも郷土のよさを知ってもらい、この地を好きになってほしいと思います。ぜひ学校の先生方にも参加していただきたい」と話していました。地域の歴史に触れ、ふるさととのすばらしさを再発見した半日でした。

◆活動日：第3金曜日19時～20時半

◆場 所：主に日吉分館

◆連絡先：☎044(533)3449の大橋さん



いま地域で学校で

交流給食でお年寄りとおふれあう

— 上作延小学校 —

高津区の上作延小学校(山田兼充校長、児童数546人)では、8年前から地域の老人クラブ「最勝会」(三田睦子会長、会員110人)の皆さんを招いて「交流給食」を行っています。

3年生との「交流給食」の日に取材に伺いました。教室に入ると、最勝会の会員がこの日のために作ったという折り鶴と交通安全の標語が書かれた飾りを、会長が子



どもたちに手渡しているところでした。食事の前に、子どもたちがグループに分かれて今回参加の8人のお年寄りへ、それぞれが考えてきた質問をしました。

「子どもの頃はどんな遊びをしていましたか?」「勉強はしましたか?」と聞く女の子に、最勝会の女性は「あやとりやベーゴマ、カンけりをして遊んでいました」「兄弟が多く子守りをしていたのであまり勉強はできなかったのよ」とにこやかに答えていました。子どもたちは、聞いたことをノートに一生懸命メモしています。

それから、きれいなランチルームに移り子どもたちが準備をした給食を一緒に食べます。「戦争の時、食べるものがなかったことを聞いてびっくりした」「今日のビビンゴはんと野菜スープはとてもおいしいね」などと、なごやかに会話しながら食事を共にしていました。

三田会長は、「さまざまな機会にじかにふれあうことで、子どもに対する見方が変わってきました。町で会っても、子どもの方から声をかけてくれるのでうれしいです」と話していました。

山田校長は、「地域の敬老の日には2年生が歌や合奏をし、3年生は案内の手紙を出し、4年生は会場に手づくりの飾り付けをします。地域の人が子どもたちを大事にしてくれるので感謝しています」と語っていました。

まち・ひと・多面体

なまの音楽を届ける

ピッコリーノ
「Piccollino」

幸区を中心に3年前から活動している「Piccollino」(木本恵代表、メンバー6人)は、「なまの声、なまの音」を届ける音楽愛好家のユニットです。レパートリーはオペラから演歌までと広く、年2回の定期公演「ゼロ歳からのコンサート〜子供のための音楽会」を行うほか、「声がかかればどこへでも」と高齢者施設や福祉施設などへ出向いて、ボランティアで演奏しています。

最近では、ピッコリーノ独自のピアノ演奏と語りを組み合わせた「おはなし音楽館」が知られるようになりました。「おおきなかぶ」や「ごんぎつね」などの童話を幼稚園や小学校で上演する機会が増え活動の幅を広げています。

8月に川崎市国際交流センターホールで行われた第6回定期公演に伺いました。客席は赤ちゃんを抱えた人や親子連れでいっぱいでした。音楽会は2部構成で、前半は「日本語っておもしろい」をテーマに、ドボルザークやモーツァルトの曲に日本の詩や早口言葉を組み合わせるといった趣向。後半は「おいしいコンサート」と題して、食べ物や料理にちなんだ歌をピアノやギターに合わせて13曲演奏。客席の子どもたちは体



を揺らしたり身を乗り出したりして聞いていました。アイデアいっぱいの“音楽のごちそう”を堪能した2時間でした。

代表の木本さんは「音楽会はハプニングの連続ですが、子どもたちの真剣なまなざしと笑顔がもらえるのが喜びです。お金には換算できない感動にたくさん出会いました。子どもだけでなく、大人の鑑賞にも堪えうるようなプログラムづくりを心がけ、これからも続けていきたい」と話しています。

来年1月17日(土)には、国際交流センターで第7回定期公演を開きます。演目はサン・サーンスの「動物の謝肉祭」他の予定。問い合わせは☎・Fax044 (511) 7088木本さんまで。

■ ホームページ…<http://www.katudon.co.jp/pico/>

■ Eメール…picopico@xb3.so-net.ne.jp

くらし百景

花筏俳句会

俳壇

秋鯖の海の七彩まといけり
胸元を気にする姥や宿浴衣

森本 茂

山裾の泉笈のまさおなる
水を打つ手押しポンプや佃路地

大石 彬子

傘ひらく音にもはじけ鳳仙花
白玉や諍いのあと片笑くほ

蔭田 美重

長男の借りにし部屋の西日かな
とうすみや俺も身軽な散歩道

岡野 昭七

夏草や空家に残る竹箒
秋しぐれ寺の坂道七曲がり

内田 泰子

郭公のひねもす鳴けり木曾の山
段畑の緋木瓜つぶらに二つ三つ

福岡 安子

禅僧の背筋正しや夏木立
味噌倉の裏は川風赤のまま

飯田 昌利

※花筏俳句会は、今年三月に発足した初心者が集まりです。会の名「花筏」とは、桜の花びらが散り、せせらぎに流れて一枚ずつ繋がります。筏の形を作って流れていくさまを表した季語に由来します。毎月第一・第三金曜日の午後一時から、さいわい健康福祉プラザで楽しく句づくりをしています。どうぞお出かけください。

☎〇四四(五二二)八五五一 飯田

情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

●お散歩コンサート

11月8日(土)14時開演、川崎市教育文化会館大会議室。声楽家の古渡智江さんの指導で童謡や唱歌などを参加者で歌う。無料。☎(233)6361の教育文化会館内同実行委員会。

●第5回津田山コーラス演奏会

11月15日(土)14時開演、高津市民館。平均年齢74歳の混声合唱団の発表=写真は前回。指揮は金星かおる。第1部は現代愛唱歌「夢の中へ」「TSUNAMI」他。2部はミュージカル「GUYS&DOLLS(野郎どもとお嬢さん)」。無料。☎(811)9266の早河さん。



●ランチタイムコンサート～オーボエとピアノのコンサート

11月19日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。出演は池田肇(オーボエ)池内章子(ピアノ)曲は「亜麻色の髪の乙女」「歌の翼に」他。無料。☎(210)3600の文化財団。

●合唱団「虹」第1回公演～虹いろ音楽館

11月30日(日)14時開演、川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)。1部はオペラハイライト、2部は「日本の四季」を歌う。出演は笹子まさえ(メゾソプラノ)他。入場料1000円。☎(755)0890「さえの会」事務局の木村さん。

●浮世絵展

11月7日(金)～22日(土)まで、開館3周年記念「肉筆浮世絵展」。川崎区の砂子の里資料館。無料。10時開館。日・祝休館。☎(222)0310。

●ミニ画廊スナック「琴」①写真展②写真二人展

①11月1日(土)～15日(土)は藤巻教悦の「SLの旅」作品。②11月15日(土)～29日(土)は久保栄・西尾真理子の「富士山・モデル」作品。展示無料。場所は幸区鹿島田。☎(544)0507。

●公開講座「越高一夫ブックトーク」

11月29日(土)13時半～16時。場所は川崎区大師のプラザ大師。子どものための本屋「ちいさなおうち」の店長で読書アドバイザー・越高一夫さんの講演。先着150人。☎11月15日(土)10時から整理券発行。直接来館か電話で。☎(266)3550。

●図書館フォーラム・かわさき2003

～図書館を支えるボランティアの力

11月15日(土)13時から、エポックなかはら。NPO「図書館の学校」小川俊彦副理事長の講演。15時からは「図書館におけるボランティア活動の可能性をひろげよう」をテーマにパネルディスカッション。参加費1000円。当日直接。☎(951)1305の麻生図書館の吉井さん。

●公害研究者・宇井純は語る「日本の公害と水俣病」

12月5日(金)18時半から。場所は川崎市役所第3庁舎隣の川崎市労連会館講堂。参加費500円。☎(244)7610の川崎地方自治研究センター内「水俣・川崎展市民委員会」事務局。

●市民プラザ社交ダンス特別講習会

12月20日(土)13時から、プラザ屋内広場。ルンバ・ワルツの講習。初・中級者対象。受講料2500円。定員男女各25人。☎11月1日よりプラザフロントへ。☎(888)3131。

●シニアのための「じっくり取り組むパソコン講座」

～デジタル画像の基礎

12月4日(木)5日(金)8日(月)13時～16時、全3回。会場は幸区の川崎市立商業高校。デジタル画像の基礎知識と修正・加工のテクニックを学ぶ。対象は市内在住・在勤の40歳以上で文字入力のできる方先着12人。受講料3000円(テキスト代含む)。☎11月27日(木)9時から電話で受け付け。☎(580)3081の川崎市生涯現役支援センター。

●平まなびあいグループAndante講座

11月14日(金)は「らくらく楽しい年賀状づくり」▽11月28日(金)は海老原けえ子さんの講演「子どもに寄りそい共に育つ」。▽12月5日(金)は教育評論家村田栄一さんの講演「教育基本法を読む」。時間は毎回10時～12時。会場は宮前区の平こども文化センター。各1000円。3歳以上の保育あり、1回につき300円。☎・Fax(865)8056の堀内さん。

●日本女子大学公開講座

11月開講の「古典演劇と劇場—日本とイギリス」「NPOの起業と運営」の受講生を募集。場所は同大学西生田生涯学習センター。パンフレットを無料で送付。詳細は☎(945)3323。

●玉川大学公開講座

11月開講の「はじめての能面打ち」「俳句入門講座」「小児救急法講座」「博物館学講座」「パワーポイント入門」の受講生を募集。詳細は☎042(739)8895同大学継続学習センター。

●ふれあい館コリア文化サークル会員募集

①ハンゲル講座②チャンゴ(太鼓)③カヤグム(琴)

①は火曜19時～20時半。月会費4800円。②は月曜19時半～20時半。3200円。③は水曜20時～21時。3400円。いずれも初心者対象、見学可。会費の高齢者割引あり。☎(276)4800のふれあい館。

フリーマーケットを開催します

（財）川崎市生涯学習振興事業団では、「かわさき市民アカデミー設立10周年記念事業」の一環として、フリーマーケットを開催します。思いがけない掘り出し物が見つかるかもしれません。ご来店をお待ちしております。

◆日 時…11月16日(日) 10時～15時(雨天の場合は翌日)

◆場 所…川崎市生涯学習プラザ 駐車場(武蔵小杉駅より徒歩12分)

〈お知らせ〉 川崎市生涯学習プラザは、1階の喫煙コーナーを除き全館禁煙になりました。